

みどりの 女神が行く!

の なか あおい
野中 葵

福島県生まれ、
千葉県育ち。
趣味は音楽鑑賞と
お散歩



— CLTが使われたスタジアムを
体感してきました

みどりの女神野中葵です。

5月17日に『CLT広報大使』に任命していただきました。

CLTを使うと、今まで木材が使われてこなかった中高層のビルやマンションも、木で建てるのができるようになります。CLTは新しい需要を生み出す国産材の期待の星です。

日本でCLTを活用した建築物が増える事で、間伐や森林の手入れも進み、地方で仕事をする人も増えていくといいですね! 私もCLTのことを皆さんに知っていただけるように、お手伝いをしたいと思います!

実際にCLTを使った施設の実例として、新豊洲Brilliaランニングスタジアムに行ってきました。この施設にはランニングレーンの屋根にカラマツの集成材、施設内の義足調整室の壁・天井にはヒノキとスギを使用したCLTが使われています。

館内は特訓する! というよりも、リラックスして身体を動かさせて、新しいなと感じました。のびのびと記録が狙えそうです!

— 木のある暮らしを各地でPR!

6月7日から9日にかけて開催されたスマートファクトリーJAPAN 2017で、私はライブ・ドリアドによるパネルディスカッションやライブ演奏において、「木糸」で作られたドレスを着用して出演しました。

私達が普段着ている衣類はほとんどが輸入ですが、このドレスは国産の、しかも森林資源で作上げようというプロジェクトによって生み出されたものです。間伐材から和紙をすき、そこから特殊な技術で繊維質をとりだして、木の糸にし、布に織り、仕上げも天然の藍染めにした、こだわりの逸品! 実際に着用してみると、肌触りがとても優しくて着やすく、森に抱かれたような気持ちになります。「木を素材とした糸でお洋服が出来るなんて!」と、私の周りの方もとても驚いていました。

CLTや木糸など、木の活用は技術の進歩によりいろいろ考えられると思います。生活や衣服など、身近に「みどり」を感じられる世の中に進んでいってほしいと思います。

6月24日には岡山県で開催された、おかやま木材フェスティバルに参加しました。岡山県はヒノキの素材生産量が日本一ということで、ところ狭しと並べられたヒノキアイテムにより会場中がヒノキの香りで包まれていました。

子ども達が木育コーナーや木の玉プールで、楽しそうに笑顔で遊んでいる姿に、周囲で見ている大人も笑顔になります。子どもたちから身近な木々やみどりに親しみを持ってもらうことで、木のある暮らしを次の世代へ送り届けていけると思います。

「木糸」で作られた
ドレス



おかやま木材フェスティバル
(上)とスマートファクトリー
JAPAN2017 (右)に出演し
ました



(撮影: Maria Golomidova)